

2021年「看護の出前授業」報告 看護の心啓発・普及事業

出前授業は、日本看護協会の呼び掛けにより、都道府県看護協会と日本教育新聞社との共同で実施しています

県下の中学校・高等学校などに実際に看護の現場で働く看護職が学校を訪問し、「いのちの大切さ」や「看護職の仕事・役割」、「看護職になる方法」等について、お話をしています。



【看護の出前授業状況】

実施日時	講師所属先	講義内容
7月8日(木) 生駒市立生駒北中学校 生徒25名 教員4名	白庭病院	<ul style="list-style-type: none"> 看護師への進路や仕事内容について 仕事の大変さや、責任感とやりがいなどの 手洗いの実習 コロナウイルス感染症対策の1つとしての手洗い練習 その他
7月14日(水) 大和郡山市立郡山東中学校 生徒23名 教員6名	奈良厚生会病院	<ul style="list-style-type: none"> 看護師になるための進路・職業選択の動機付け コロナ禍における感染予防法について その他
10月4日(月) 宇陀市立大宇陀中学校 生徒38名 教員4名	宇陀市立病院	<ul style="list-style-type: none"> 看護職の仕事(キャリア教育) 命の学習 看護技術の体験(心肺蘇生法) その他
10月26日(火) 葛城市立忍海小学校 生徒59名 教員3名	土庫病院	<ul style="list-style-type: none"> 命について考える 「看護師さんがどのような仕事をしているのか」 「看護の仕事をしていく上で大切なことは何か」 「夢をかなえるために大切な事は何か」 を考える その他
11月29日(月) 奈良市立明治小学校 生徒64名 教員4名	済生会奈良病院	<ul style="list-style-type: none"> 体の変化を知る 命の大切さに気づく 思春期の体つきの変化、体の動きの変化(初経・精通など)、心の変化など その他

【感想】

- 看護師の仕事は大変な仕事なのに、笑顔で対応されていてすごいなと思いました。
- お話を聞いて、助産師や看護師になりたいなと思いました。
- やる事が想像以上にたくさんあって、とても大変そうだった。
- コロナワクチンの注射など、めずらしい写真を見せていただいてよかった。
- 人間関係が改めて大切だと思った。人を助けられる人になりたいと思った。
- 職につくための勉強はもちろんだけど、友達とよく話すことも大事とおっしゃっていたので、勉強に加えて人間関係や世間的なマナーについても身につけていきたい。
- 今まで看護師という職業は大変そうだと思っていたけど、大変な分やりがいやうれしいこともたくさんあって興味がわいた。
- 自分の好きなことを仕事にできるって素敵なことだと思った
- 夢をかなえていくためには、諦めずに追いつけること、夢に向かって勉強すること、諦めずに自分の夢に一步一步進むこと、叶えようとする努力、周りの意見ではなく、自分で道を作ること。
- 勇気を振りしぼって心肺蘇生に挑戦し、人々の救命率を少しでも上げて、誰かの大切な人を助けていかないと。人を助ける(命を救う)というものの重要さを改めて身で感じました。
- 「命は大事だなあ」と改めて思ったり、「あっ、もっと命を守らないと!」と思ったりしました。
- 男子と女子の体のつくりやちがいが分かりました。男子には卵巣がなく、女子には卵巣があるのが分かりました。



ーナースセンターよりー

新型コロナウイルスの影響で、ふれあい看護体験など、医療の現場での体験学習が出来ない現状です。

しかし少しでも医療や看護の現場を知る事、命の大切さを知る事、感染症から自分自身や周りの人を守ることを学んでもらうために、出前授業を実施しています。

今年度より、小学校からのお申し込みも受け付け、命についてのお話を聞いていただく事になりました。

コロナの影響で県内の病院は多忙ではありますが、出前授業の趣旨をご理解いただきご協力をいただきました。

今後も 学校側、病院側も新型コロナウイルス感染症対策を充分に行って、体験授業が多く開催されることを願っています。

皆さんありがとうございました。

奈良県ナースセンター